

# カレッジ通信

智辯学園奈良カレッジ小学部

令和2年度 7月号

令和2年7月15日 発行



7月からようやく通常授業を開始し、児童たちも徐々に学校生活のリズムを取り戻しつつあるように思います。とはいえ、日本各地で新型コロナウイルスに感染する人が後を絶たない現状を考えると、感染拡大防止の手を緩めるわけにはいきません。学校では、今後とも感染防止対策を継続し、児童の健康と安全を守ろうと考えています。ご家庭でも、児童一人ひとりの感染防止意識を高めるため、ご協力くださるようお願いいたします。

さて、梅雨の時期とはいえ、何日にもわたって降り続き、日本各地を襲った集中豪雨による災害のすさまじさには言葉を失ってしまいました。多くの方々が被災され、途方に暮れておられる姿を報道などを通じて目にする度に、胸塞がる思いがしました。被災された方々には、1日も早く、支援の手が差し伸べられ、平穏な生活を取り戻されることを祈念しています。

ここ数年、梅雨の時期に起こる集中豪雨による災害は決して他人ごとではありません。日本のどこで起こってもおかしくない、明日は我が身の出来事です。災害列島と呼ばれる日本に住んでいる限り、豪雨や地震などの災害に対する備えを怠ってはならないと肝に銘じました。児童の防災意識も高めるよう努めて参ります。ご家庭でも、防災について、お子様とじっくり話し合っただけければ有難く存じます。

## 7～9月の学校行事予定

月	日	曜	行 事	月	日	曜	行 事
7月	16	木		8月	8	土	週休日
	17	金			9	日	
	18	土	入試説明会・検尿（2回目）		10	月	山の日
	19	日			11	火	夏休み
	20	月	中学部説明会(小6児童・保護者対象)		12	水	
	21	火			13	木	
	22	水			14	金	2学期始業式
	23	木	海の日		15	土	
	24	金	スポーツの日		16	日	
	25	土	中学部見学会(小5児童・保護者対象)		17	月	
	26	日			18	火	
	27	月			19	水	
	28	火			20	木	
	29	水			21	金	
8月	30	木		9月	22	土	1・2年保護者会
	31	金	感謝祭・児童会役員任命式・永年勤続者表彰		23	日	
	1	土			24	月	
	2	日			25	火	
	3	月			26	水	
	4	火			27	木	
	5	水	1学期終業式		28	金	
	6	木	個別面談		29	土	3・4年保護者会
	7	金	個別面談		30	日	
					31	月	休業日

☆年度当初、9月5日に予定していた「夏休み作品展」は中止します。  
 ☆今年度は保護者会を実施できていませんので、上記の表にも一部記載しましたが、各学年以下の日程で実施する予定です。詳細については後日お知らせいたします。  
 1・2年…8月22日（土）、3・4年…8月29日（土）、5・6年…9月5日（土）

## 令和2年度 児童会

今年度の児童会の代表委員と、各委員会の委員長及び副委員長を紹介します。各委員会が連携し、より良い学校づくりのために尽力してくれることを期待しています。  
 また、7月1日に児童会役員選挙を行い、代表委員がそれぞれ公約を述べました。それを受けて、5・6年生がそれぞれ1票を投じました。児童会役員任命式は7月31日の感謝祭の折に行う予定です。任命式後に、改めて児童会役員を紹介します。

### 各委員会委員長・副委員長

委員会		
代表	別 所 優 磨 （6－1）	廣 岡 蒼 大 （5－1）
	長 井 綾 音 （6－1）	石 原 こころ （5－1）
	松 村 史 悠 （6－2）	宮 本 晃 芽 （5－2）
	山 田 紗 綾 （6－2）	橋 本 芽 生 （5－2）
	委員長	副委員長
環境美化	増 田 光 莉 （6－2）	岸 本 莉 奈 （6－1）
		北 村 晋太郎 （5－2）
新聞	岡 本 遼太郎 （6－1）	吉 田 明日香 （6－1）
		原 悠 太 （5－1）
図書	片 山 莉 女 （6－1）	望 月 亜 衣 （6－2）
		伊 丹 尚太郎 （5－2）
風紀	庄 田 遥 紀 （6－2）	宮 倉 崇 行 （6－1）
		石 田 陽 彩 （5－2）
放送	鍛治本 千 雛 （6－2）	木 村 心 奏 （6－2）
		山 葭 心 寧 （5－2）
保健体育	香 月 蒼 太 （6－2）	岩 間 瑛 大 （6－1）
		相 川 星 七 （5－1）

## 里山の活動

2年生が育てているキュウリ、ナス、トマトが収穫期です。児童たちは自分の鉢にできた野菜を嬉しそうに収穫し、持って帰っています。



4年生が6月に植えた稲は順調に育っています。



ブドウの実がなりました。3年目で少しブドウらしくなりました。

## 令和2年度 育友会

本年度は、新型コロナウイルス感染防止の観点から、一堂に会しての育友会総会を開催することはできませんでした。

さて、本年度の育友会役員の皆様、並びに、各組実行委員の皆様をご紹介します。

旧役員・実行委員の皆様には心より感謝致しますとともに、新役員・実行委員の皆様にはこれから一年間、いろいろとお世話をお掛けしますが、何卒ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

### 育友会役員 【敬称は略させていただきます】

役職	保護者名	児童在籍クラス
会長	和田 修志	3-1、1-1
副会長	岩間 密	6-1
副会長	池上時治郎	6-1
書記	金村 政在	4-1、1-1
会計	那和 祥史	3-2
会計監査	原 博之	6-2、4-2
会計監査	大庭 孝史	5-2

★ 書記として中川教頭が、会計として安田事務長が、学園よりお手伝いいたします。どうぞよろしくお願い申し上げます。

### 各組実行委員 【敬称は略させていただきます】

1-1	高尾知城作	山田はつき	4-1	亀多 平磨	吉田 健
1-2	久保 将隆	米嶋 隆彦	4-2	谷本 光司	森本 徹
2-1	河村 圭佑	玄野 博行	5-1	上野 博章	鵜飼 隆司
2-2	杉本 直子	辻 知哉	5-2	岡野 永嗣	橋本 松雄
3-1	北詰高太郎	西谷 健志	6-1	宮倉千佳子	山本源一郎
3-2	浅野総一郎	元池 千弘	6-2	香月憲二郎	庄田 道生

## 児童募集に関わってのお願い

「児童募集」に関わって、下記の予定で説明会を開催いたします。

保護者の皆様のお力添えを賜り、受験適齢期のお子様をお持ちの方や、本校に興味をお持ちの方にできるだけたくさんお集まりいただければ有り難く存じます。ご協力の程、よろしくお願い申し上げます。

「入試説明会」 令和2年7月18日(土)

10時より本校にて開催します。

※詳細は本校HPをご覧ください。

<https://www.chiben.ac.jp/naracollege-el/>



## 教員コラム

「失敗は駄目なことですか？」

神田賢宏

理科の授業では数多くの実験をします。実験をしているときの子どもたちは、真剣で輝いた眼差しをしています。授業中に行う実験の多くは、教員が事前に一度予備実験を行ったものであり、成功することが多いです。しかし、数々の発見をしてきた偉人たちはそんなに次から次へと実験を成功させることができたでしょうか。答えは「No」です。むしろ、実験の結果が予想通りだったということは、稀にしかありません。

授業では子どもたちにスムーズに理解してもらうため、成功しやすい実験を取り扱います。しかし、実験が成功し続けると身につかないものがあると思います。その「疑問を持ち、それを解決しようとする姿勢」です。何をやっても上手くいく状況下では、そもそも何も疑問に思いません。

では、この「姿勢」はどのようなときに身につくのか。それこそが「失敗したとき」です。失敗をしたときこそ、「疑問に思う気持ち」が一番強いのです。その証拠に、どんなに理科が苦手な子どもたちでも、実験を失敗したときは必ず「なんで上手くいかないんだろう。」とつぶやきます。

実は私たちも実験に失敗しないわけではありません。先日、コロナウイルスによる休校期間中に、4年生の理科の動画に入れようと、森田先生と2人で実験の動画を撮影していた時のことです。大きい粒の土(砂場の土)と小さい粒の土(田んぼの土)では、どちらの方が水をよく通すのかを見せようと、演示実験をしていました。理論的には、大きい粒の方が隙間がたくさん空いているので、水をよく通すはずですが、そこで、大きい粒の土と小さい粒の土を用意し、それぞれに水を通しました。結果を見て私たちは唖然としました。小さい粒の土の方が水をよく通したのです。



そのとき、私たちの「疑問に思う気持ち」が大きくなりました。「どうして小さい粒の土の方が水をよく通したのだろうか。」「もしかしたら小さい粒の土にはダマができていて、まるでもっと大きな粒の土のように、ダマとダマの間に大きな隙間ができてしまっているのではないか。」と話し合いました。そこで、ダマが崩れて隙間が埋まるよう、森田先生が小さい粒の土を練ってください、再実験をしました。小さい粒の土は水をほとんど通さなくなりました。疑問を解決できた私たちは、大人げなく喜びました。

この実験では、ただ児童の皆さんに実験を演示できただけでなく、田植え前に土を練る作業「代かき」が、田んぼの水漏れ防止に大きな効果があることを確かめることができました。このことは今年の田植えに活かされ、今年のカレッジの田んぼは去年に比べ水漏れが格段に減っています。(作業をされたのは私以外の先生方なので恐縮ですが……。)

失敗したときにこそ「疑問を持ち、それを解決しようとする姿勢」が生まれ、解決できたときに喜びを感じることが出来ます。失敗は考えを深める機会となり、成長の糧となるのです。